

# スーパーマーケット景況感調査(5月速報版)

## 概況

回答企業数305社

### ○売上

現状は「増加」が28.2%、「減少」が35.7%、見通しは「増加」が22.7%、「減少」が32.4%である。  
現状判断DIは47.5、見通しDIは47.2で、横ばいを示す50の水準に近づきつつある。

### ○収益率

現状は「改善」が17.7%、「悪化」が38.0%、見通しは「改善」が19.5%、「悪化」が31.3%である。  
現状判断DIは44.6、見通しDIは46.9と、見通しDIが現状判断DIをやや上回っており、先行き改善の兆しがうかがえる。

### ○客単価

現状は「上昇」が16.7%、「低下」が44.0%、見通しは「上昇」が14.5%、「低下」が36.6%である。  
現状判断DIは42.5、見通しDIは43.9と、いずれも横ばいを示す50を下回り、客単価の落ち込みが収益を圧迫している様子が見られる。

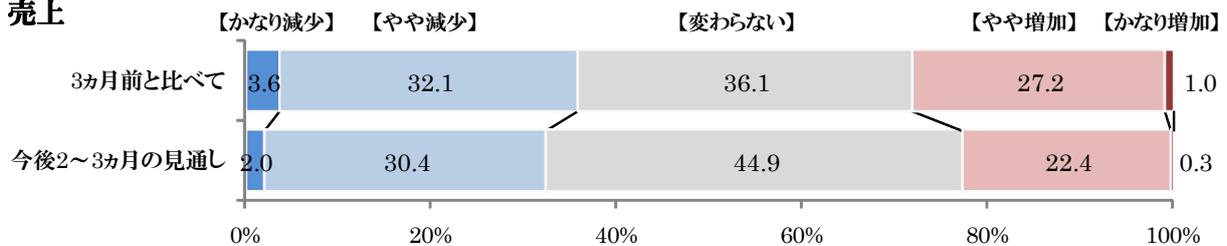
### ○地域の景気

現状は「改善」が8.5%、「悪化」が40.3%、見通しは「改善」が8.9%、「悪化」が37.5%である。  
景気の現状判断DIは40.8、見通しDIは42.2と、いずれも横ばいを示す50を大きく下回っており、地域の景気が依然厳しい状況にあることが示されている。

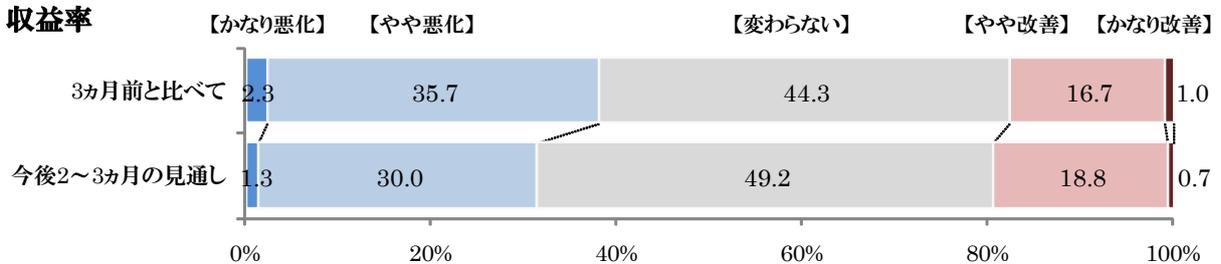
以上のように、売上高回復の兆しはみられるものの、客単価の低下で収益率の回復につながらない状況が示されている。また、地域の景気は多くの店で依然として厳しいと判断している。なお、地域別にみた景況感の格差は大きく、各項目ともかなりの差が見られる。

## 回答構成比(%)

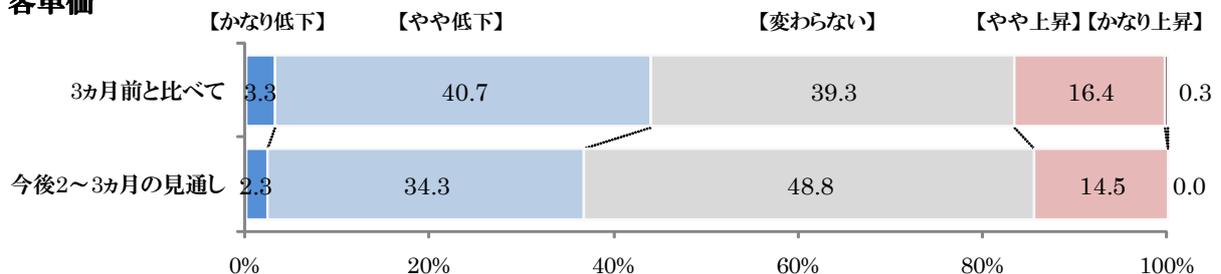
### 1. 売上



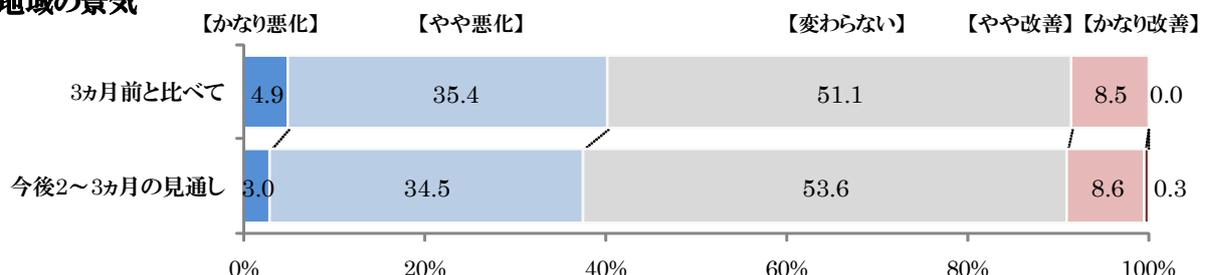
### 2. 収益率



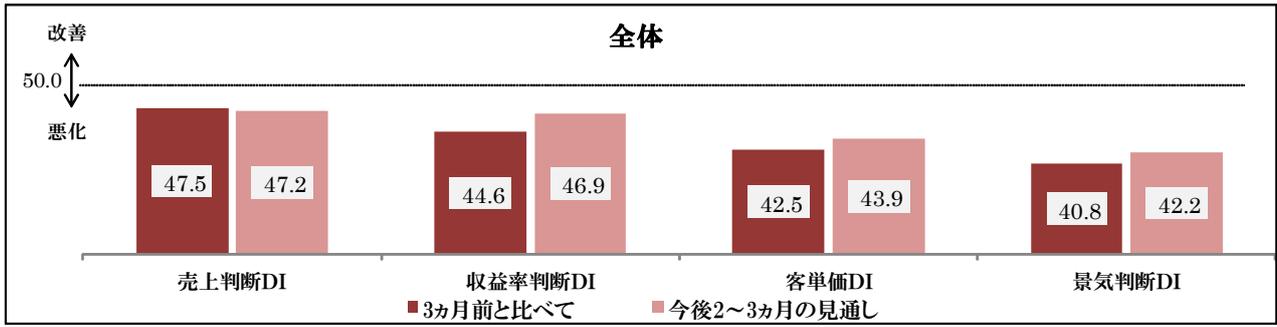
### 3. 客単価



### 4. 地域の景気



## スーパーマーケットDIの動向



## 地域別比較

